

所蔵作品による小企画展
みなもをめぐる 水の表現を味わう

2023.5.30TUE→7.23SUN

古代ギリシャやローマでは、「火」「空気」「土」となると世界を構成するものの一つと考えられていた水は、わたしたちが生きていくうえで欠かせないものです。これまで世界中の芸術家によって、さまざまな主題の中で川や海、雨などの情景として表現されてきました。水が見せる表情は、地勢や時間、天候によって、ゆるやかな流れやしづきをあげる激しい流れ、淀み、凧、さざ波、荒波、うずまく波と実に変容きわまりありません。それは多くの芸術家の創作意欲を刺激し、風景画や歴史画、豊かな装飾性による意匠の中に、優れた技巧や多彩な表現としてみる事ができます。



本展では、当館が所蔵する水と結びつきのあ作品群の中から、水の表面を意味する「みなも」に焦点を当て、3つのテーマでご紹介します。第1章「生活を楽しむ」では、釣りを楽し

む溪流や湯あみ、都市を流れる河川など人々の生活と関わりのある「みなも」をめぐります。第2章「水景をめぐる」では、今はもう存在しないかもしれない、かつて作家が訪れ心惹かれ描いた国内外の風景を、時空を超えてめぐります。第3章「様式・意匠をめぐる」では、様式化された日本的な水の表現や定まった形を持たない水というモチーフにさまざまな輪郭を与え、デザイン化した意匠をめぐります。

2023年 初夏号
 No.23



鹿児島市立美術館 | KAGOSHIMA CITY MUSEUM OF ART

発行 鹿児島市立美術館
 〒892-0853
 鹿児島市城山町4番36号
 TEL(099)224-3400



初夏の所蔵品展 (西洋美術+郷土作家+特集コーナー)

ミニ特集：令和4年度新収蔵品

会期：5月23日(火)～7月17日(月・祝)

作品収集は美術館の最も重要な活動の一つです。昨年度に収集した新たな作品を、関連する参考作品も交えて一堂にご紹介します。郷土ゆかりの作家たちによる、絵画から彫刻、工芸まで多様なジャンルや表現の

作品をご覧ください。
 寄贈作品 全12点

- 【絵画：9点】
 - 岩下国郎 《プラティセリウム》(油彩画)
 - 満田天民 《閑日》、《秋晴れ》、《菊と虫》
 - 橋口五葉 《猫とけしの花(下絵)》(素描)
 - 橋口康雄 《猫》(素描)
- 【彫刻：1点】
 - 安藤照 《兔》(ブロンズ)
- 【工芸：2点】
 - 濱ノ上セツ 《緑遊Ⅱ》、《雲よぎる街に》(七宝)



安藤照《兔》(ブロンズ)

また、今回の初夏の所蔵品展では、昨年度鹿児島市の指定文化財となった、新納忠之介による2点の西王母の像、そして、傷んでいた部分の修復や新たな額装、軸装を施した橋口五葉のポスターと日本画も紹介します。様々なご縁で当館に集まることとなった作品を、この機会にどうぞお楽しみください。

- 会場内のいろいろな「みなも」をめぐりながら、
- 水の表現に投影された心情や美しさ、表現技巧など、幅広い視点で鑑賞をお楽しみいただけます。
- います。

季節の所蔵品のギャラリートークが
 申込制で復活しました！

鹿児島市立美術館では、観覧料のみでご参加

いただける「ギャラリートーク(学芸員による展示作品の解説)」を開催しています。開催日時や会場、ご参加時の注意事項などについては、美術館ホームページでご確認ください。

【一般向け】 日時：6月10日/7月8日(土) 各回14時から
 【小中学生・親子向け】 日時：6月18日/7月16日(日) ※小中学生は無料開放日です。



ギャラリートークについて

無料開放日のお知らせ
 毎月第3日曜日は、小・中学生は無料開放日です。
 所蔵品展 + 小企画展を無料で鑑賞いただけます。
 6月18日(日)、7月16日(日)



夏の陽光に照らされたきらめく海を背景に、赤いマッチ箱を持った青年がこちらを見つめています。鹿児島生まれの和田英作は、同郷の黒田清輝にめぐりあい、戸外の明るい光に照らされた自然を直接描写する外光派の表現を修得します。そして、明治、大正、昭和の3つの時代にわたり、洋画壇で活躍しました。

モデルの青年は、来年発行される新しい一万円紙幣に描かれる実業家、渋沢栄一の四男、渋沢秀雄です。彼は東京帝国大学の法学生のかたわら油絵もたしなんでいたました。当時東京美術学校は、伊豆(静岡県)の土肥に水泳部をもっており、大正三年、秀雄は部長の和田



に同行して同地を訪れました。和田は、頭上から降り注ぐ夏の強い日差しによって照らされた肩や腕、また、経木帽子によって生み出された顔や浴衣の複雑な陰影を注意深く観察して光と影が交錯する画面を描き出しました。背景に広がる水面の表現が秀雄の姿をいっそう際立たせています。後年、和田は秀雄に、「マッチの光は一瞬しか残らないが、良き思い出は永遠に残る。」と書き添えた本作の絵葉書を送りました。